

かつてそこに存在した学校のように、ここを訪れる誰もがその場を大切にし、また自分がその場によって大切にされていく「むらの居場所」であり、地域の持続可能性を高めるため、生み出し、磨いて、育み、広げていく装置 ～創造と伝承～

大切な視点①

これからの食や農の文化を創造していく きっかけの場（地域内にも広げていく）

＜生産性を高める取り組み＞

果樹や野菜の加工

スイーツの開発

気軽に売れる仕組み

プロから学べる場

廃棄されるものの加工、実験

レンタルキッチン

まちの人が訪れ、消費する場

＜これからの時代の、生きがいや文化を育む＞

お年寄りの意欲や役割づくり

漬物と暮らしの物語

郷土食の伝承、継承

大切な視点②

これからの「農ある暮らし」のモデルづくり

農業体験・暮らし体験

環境を守る取り組み

食と健康と農のモデル

空家や耕作放棄地での実験

ジビエや鳥獣害

地域農業の拠点

安心して農業を続けられる仕組み

学習・教育の場

大切な視点③

これからの若者や子どもたちの 役割、活躍の場を創造するきっかけづくり

＜環境や農を活かした、地域での「キャリア形成」の場※＞

ちいきの「キャリア教育」の場

高校生からチャレンジ・起業ができる開発や生業づくり

若者のチャレンジを応援できる風土づくり

手作りイベントや小さなマーケットなど、

地域デビューのきっかけの場

外からの新しい情報を知る場

（芸術、映画、イベント、フェス・・・）

大切な視点④

子どもを育てやすい環境・仕組みづくり

子どもたちの遊び場（地域として、ふるさととして）

自然に触れ合う、出会うきっかけがある場

お母さん、お父さんが集まれる場

同年代の子どもたちが集まれる場・機会

水遊びできる場所

遊具

離乳食を提供してくれる飲食店、持ち込み可能な場所

年齢制限なく兄弟と一緒に連れて行ける遊び場

子どもが騒いでも周りの目を気にしなくてよい空間

オムツを替えられるスペース、多目的トイレ

ここに来れば遊びもご飯もまかなえて一日過ごせるという場

託児サービスや児童館、習い事教室

大切な視点⑤

これからの地域にとって必要なコンテンツや 風土を生み出していくきっかけづくり

観光（見て光らせる、磨く）の視点、スポットづくり

地域内の遊歩道や散策路の整備

サイクリングロード

珈琲、花、本を売り、人とつながる場

バーベキュー

風景や景観を楽しむルートづくり

農家民宿をはじめ、既存建物を使った宿

健康づくり

不安な点、気になる点からの大切な視点⑥

使い方のルールや、誰もが使える、 使いやすくするための仕組みづくり

＜長岡のこれからの交通手段を考える＞

お年寄りをはじめ、交通弱者にとって移動しやすい仕組み

仕組みを考える（移送支援・しわまる号の活用）

他地域からの交通アクセスや誘導の仕方

自転車（レンタサイクル含む）やキックボードなど、

次代に対応した交通手段の仕組みづくり

＜長岡以外の人を迎える仕組みづくりやその準備＞

地域の中の情報共有の仕組み

長岡を好きになってもらう、関わってもらう仕組み

ゴミや騒音など、環境の変化に関するルールや対応

→荒廃、放棄地と一緒に考えていく

移住希望者や体験者を迎える準備

※地域でのキャリア形成＝地域内での経験やスキルを通じて、この地で暮らしていく、暮らしていけると実感、体感させること
（例）地域で働く人を知る、暮らしを支えている人を知り、自身の将来の姿をイメージすること